



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

学校給食費も高校タブレットも無料 県民に寄り添う県政に！

東京都は、今年度から医療費助成の対象を高校まで拡大しました。これにより、23区などで高校を卒業するまで医療費が無料になっています。

一方、埼玉県の助成は「就学前まで」にとどまっています。春日部市は「入院が高校卒業まで、通院は中学校卒業まで無料」ですが、県の年齢拡大が待たれています。

給食費は「保護者が負担すべき」？

日本共産党県議団は、今年

6月の県議会で、子育て世帯の負担軽減について質問しました。

子ども医療費の助成について「現在の制度は変えない」と、かたくなな態度を表明し、学校給食費無償化に向けて、市町村への支援を求めたのに対しては「食材費は保護者が負担すべきもの」という姿勢です。

さらに、県立高校の生徒は一人1台タブレットを購入しなくてはならず、大きな家計の負担になっています。タブレット購入費の「公的支援を」

と求めましたが、このことについて「支援には多額の財源が必要であり、保護者が負担すべきもの」と冷たい答弁でした。

生きることを励ます
県政への転換を

地方自治体の本来の役割は、「住民の健康、安全、福祉の保持」です。

国の政治が、30年間賃金が上がらず、格差と貧困を広げる中で、コロナ禍で疲弊した地域経済を立て直し、若者が希望をもって生きられる、子育て世代が安心して子どもを生み育てられる、高齢者が年齢を重ねても住み慣れた街に住み続けられる…ひとりひとりに寄り添うあたたかい県政への転換が必要です。
日本共産党は、「生きることをはげますー学ぶことをあきらめない」埼玉県政を実現

するために、以下の政策を発表しました。

- ① 学校給食費ゼロ
 - ② 市町村がおこなっている国民健康保険会計への繰り入れを継続し、均等割り引き下げ・子どもの均等割はゼロ
 - ③ 県水道料金20%値上げ方針は撤回
 - ④ 市町村がおこなっているコミュニティバス・デマンド交通を支援し、通院・買い物など日常生活の移動手段の確保
 - ⑤ 男女賃金格差ゼロ
 - ⑥ 豊かな自然を生かし、地産地消で地域経済活性化
 - ⑦ 地球温暖化防止へー省エネ・再エネプロジェクト実施
 - ⑧ 返済不要の給付型奨学金の拡充
 - ⑨ 高校学費の完全無償化
県立高校のタブレット無償貸与
- ご一緒に力を合わせましょう。



日本とウクライナの文化の懸け橋になりたい 第18回 平和フェスティバルを開催

7月22日、正風館で第18回平和フェスティバルが開催されました。フロアイベントとして、一昨年も開催した「中村哲医師の軌跡」の展示とともに、「未来への提言中村医師から学んだこと」と題して、石橋忠明さんの講演がありました。

人間としてムダはない 自分のやれることを

石橋さんは、2003年より中村哲氏のアフガニスタンにおける灌がい用水路建設「緑の大地計画」に従事し、現在も水利技術の伝



在りし日の中村さん

播等に尽力して居る方です。石橋さんは、最初に



講演する石橋氏

「用水路が運ぶ恵みと平和」と題する映画を上映しました。映像は、中村氏が医師として派遣されたアフガニスタンで、大干ばつの中400万人が飢餓に苦しみ、泥水を飲み子どもや老人が命を落とす様子を映し出し、中村氏は「今必要なことは、医療より水だ」と、用水路建設を決心しました。これが「緑の大地計画」です。困難な計画ではとの声に中村医師は「心配もあるが、今重要なのは水なんだ。まず取り組もう」と実行しました。「緑の大地計画」は

現在も進められ、多くの人々の食料を確保しています。

石橋氏は、「中村医師は大きな実績を残しましたが、人間としてどう生きるか、自分にできることをやること、一灯の光でしかないが地道にやるのが大切と話していました。」と中村医師の言葉を紹介し、「自然と人、人と人が関わり、心温まる関係をつくること、何より大切なことだと学びました。」と結びました。

悲劇は忘れた時 繰り返される

午後は、共栄大学生の司会、松実学園生徒の「春日部市非核平和都市宣言」朗読、春日部ジュニアコーラスの歌声で始まりました。そして、ナターシャグジューコンサートです。ナターシャさんは、現在ウクライナ支

援のために積極的に活動していますが、6歳の時チェルノブイリ原発事故を経験しています。3日間だけの避難といわれ荷物は持たずに避難したまま故郷には戻っていません。日本への来日を機に「ウクライナと日本の文化の架け橋になりたい」と民族楽器のバンドウーラとともに演奏活動に取り組んでいます。故郷を思い、平和を願う歌声はどの曲も心に響きました。原発事故、ウクライナ戦争とつらい経験があるからこそ「悲劇は忘れてはいけない。忘れた時に繰り返します。」との言葉は胸にささります。最後に春日部ジュニアコーラスとの「ふるさと」の合唱に、会場がひとつになり、平和は一人ひとりの思いを重ねてつくるものだとしみしました。

市立医療センター ☎735-1261(夜間毎日土・日・祝)内・外科系 救急電話相談#7119

7/30(日) 庄和中央病院(内科系)上金崎28 ☎746-3122 グレース家庭医療クリニック(小児科系)大倉610-10 ☎718-0107 わかば耳鼻咽喉科クリニック(外科系)中央1-11-4 ☎763-0908

8/6(日) わかば診療所(内科系)小淵1593 ☎753-3530 おかだこどもの森クリニック(小児科系)藤塚1225 ☎745-7722 若松医院(外科系)栄町1-334 ☎761-0077

休日当番医